

留学体験記

学年（留学当時）	高校 1 年
留学先（国／地域）	ケアンズ・オーストラリア
留学期間	高 1 ～高 2 の春休み 2 週間
留学形態（ホームステイなど）	ホームステイ・現地学校訪問
留学斡旋機関	ISA

私は、高校二年生の夏休みに、オーストラリアのケアンズに約 2 週間の短期留学に行きました。留学先では、ホストマザー、ホストファザー、同年代のホストシスターがいる家庭でホームステイをしながら現地の学校に通っていました。

現地の学校では、現地校生と交流したり、一緒に創作活動や体育の授業を受けました。私がいった学校では、小学 1 年生から高校 3 年生までが同じ学校に通っていたため、幅広い学年と関わることが出来ました。

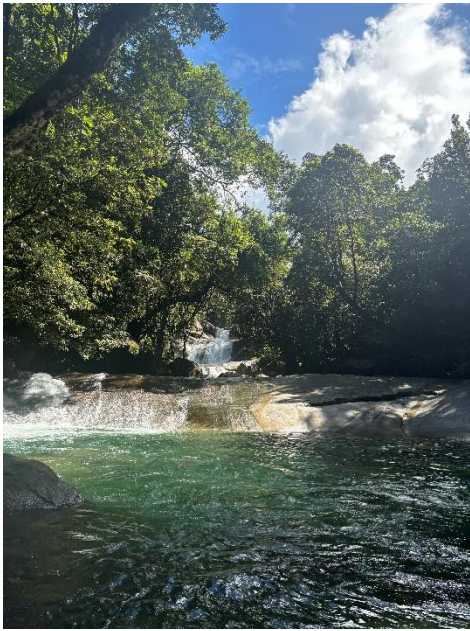
最初はとても緊張していましたが、ホストファミリーの方がとても親切に接してくれたおかげで、すぐリラクセスして、沢山コミュニケーションが取れるようになりました。



留学に行きたいと思うような何か大きなきっかけがあったわけではないのですが、高校生になってからもっと大きな変化がある体験をしたいと思うことが多くなり、頼れる人がいない海外に行って色々なことを経験することで、視野が広がるだけでなく、普段の日本での自分の生活にありがたみを感じたり、改善することが出来るのではないかと思います、留学することにしました。

私はこの留学を通して、様々な人と交流し、大切な繋がりを築くことが出来たと同時に、言語が異なる人々と、異なる文化を共有することの難しさを実感しました。ホームステイ先では、日本での生活と異なることも多くありました。例えば、ケアンズでは大体の家で、シャワーは 5 分以内に上がり、洗濯は週に 2 回程度なのが普通で、家の窓は基本的に全開なため、家の中にヤモリがいたり虫が沢山飛んでいても誰も気にしません。最初は少し大変でしたが、ホストファミリーが私たちが過ごしやすいようにサポートしてくれたり、日本の文化のことを聞いて尊重してくれることもあり、互いの文化を尊重しながら一緒に暮

らすことの楽しさや新鮮さも知ることが出来ました。



私は最初、伝えたいことがあっても、伝わらないのが怖くて伝えられないことがありましたが、留学で沢山の人と交流する中で、伝えたいという気持ちがあれば、英語が完璧ではなくても大体は相手に伝わるということを体感してから、伝えたいことを自分の英語で相手に伝えるということに対して抵抗がなくなり、気楽に英語で会話できるようになったと感じます。

この留学で学んだ、英語を話すことの大切さ、今までとは違う環境で過ごした全ての経験を、日本にいる時も生かし続けたいと思います。

